



受験サプリ

他大学受験対策、勉強時間の確保 多様な生徒のニーズに対応

— 東京・私立 日本大学豊山高校 —

取材・文／丸山佳子



左から、
進路指導部主任
青木智宏先生
前進路指導部主任
伊藤秀樹先生
進路指導部副主任
田島寛之先生

School Data

創立1954年／普通科男子校 生徒数1438人
進路状況(2013年度)大学進学92.8%
(うち日本大学78.2%、他大学14.6%)、
専各進学・予備校7.1%・就職0.1%
東京都文京区大塚5-40-10
TEL 03-3943-2161
URL <http://www.buzan.hs.nihon-u.ac.jp/>

■ 受講生に聞く 「受験サプリ」活用法

1年の2学期からセンター試験の過去問に挑戦。得意分野を伸ばし、大学受験に備えています

海部 秀明くん
(特進クラス理系2年生・他大学理系志望)
塾や予備校に通っていないので、学校で「受験サプリ」を紹介されて興味をもち、1年の2学期後半から利用し始めました。最初に挑戦したのはセンター試験の過去問題集。全科目をやってみると自分の得意分野・不得意分野が見えてきたので、それからは得意な理数系は「受験サプリ」を使ってもっと伸ばすように、苦手な科目は、学校の授業でしっかり勉強をするようにしています。将来の夢は理科の先生。私立他大学志望なので「受験サプリ」の大学の入試情報も役立っています。漫画の「ドラゴン桜」が読めるのも、勉強中の息抜きになります。



昨年の誕生日に、両親からプレゼントされたタブレット端末で「受験サプリ」を活用している海部くん

大好きな化学は「受験サプリ」で成績UP
苦手な英語文法も、関正生先生のおもしろい授業で克服中です

宮地 司くん
(進学クラス理系3年生・日本大学薬学部志望)
利用料が安くて、いつでも繰り返し勉強できるので、塾に通うよりもいいと思い、使い始めました。もともと化学が大好きで成績はいいほうでしたが、「受験サプリ」の化学の授業がすごくおもしろくて、テストの成績がさらに上がりました。先輩から「薬学部に進むなら英語を勉強しておかないと大学の授業についていけないぞ」と言われていたので、関先生の英文法の授業を見始めたら、すごくおもしろい。苦手意識があった英文法も、これで克服できそうです。受験に向けてもっと計画的に活用していきたいと思っています。



宮地くんが活用している坂田薫先生の化学の授業と、関正生先生の英文法の授業

日本大学付属高校の中で唯一の男子校である日本大学豊山高校は、大学進学率90%以上を誇るとともに、インターハイ常連の運動部も多い文武両道の実践校。中高一貫教育を行っている同校には、豊山中学から進学した生徒と高校受験をして入学した生徒の混成による「特進クラス（国公立・難関私立大・日本大学難関学部進学志望者対象）」、「進学クラス（日本大学進学希望者対象）」、「体育クラス（スポーツ推薦入学の生徒対象）」の3クラスがある。2015年3月に11階建ての新校舎が完成するのを機に、中学と高校を同じ校舎に併設。グローバル化に対応した中高一貫教育を目指している。

「受験サプリ」で解決

特進クラスのレベルアップも
体育クラスのリフレッシュも

「新校舎が完成してハード面が充実しても、学校というのはソフト面、つまり教育内容が充実していなければ意味がありません」と前進路指導部主任の伊藤秀樹

先生は言う。そこで同校では、昨年から学力向上プロジェクトを開始。英語力向上を目指して独自のプリント学習を中学・高校で行うほか、他大学に進学する「特進クラス」のレベルアップ対策、部活動で勉強をする時間がない「体育クラス」のフォローアップ対策を考えてきた。

「受験サプリ」は、それらの課題を一気に解決してくれるソフトでした。スマホやパソコンで、基礎から応用まで自分のレベルに合わせた授業動画を見られるので、特進クラスの生徒はハイレベルの勉強ができ、体育クラスの生徒も自宅や合宿先で復習ができる。もちろん進学クラスの学力向上にも役立つ。昨年夏に導入を決めました。登録募集を各クラスの担任に任せたために説明に温度差があり、活用頻度に差が出てしまった。その改善が今年の課題です」と伊藤先生。

ケース別モデルスケジュール表で 生徒の達成感を促進していく

昨年末、校内で「受験サプリ」のモニタ

アンケートを実施したところ、活用できていない理由として「どの授業を組み合わせれば効果的なのかわからない」という意見があがってきたという。

「その声を受けて説明方法を考えていたときに、「受験サプリ」のケース別モデルスケジュール表の提案をいただきました。これは、国公立大学を目指すならこういう授業を組み合わせた方がいい、部活をしている場合は夜1時間だけ予習復習をしようというように提案が時間割で示されているので、非常にわかりやすい。スケジュール表に従って一週間トライして成績が上がれば、生徒たちも主体的に勉強に取り組みます」と進路指導部副主任の田島寛之先生。

同部主任の青木智宏先生も、「まず少人数制の説明会を開き、教員が個別指導しながら夏休み前までには活用方法を浸透させたい」と語る。

新校舎完成後は、中学3年生の「特進クラス」でも「受験サプリ」を活用して基礎学力の向上を図り、中高全体のレベルアップに繋がっていくことがその先にある目標だという。